

山行報告書

報告書作成

2005年7月17日

山名 [山域]	至仏山、燧ヶ岳山行(尾瀬)	目的と方法	ニッコウキスゲとホソバウスユキソウ
登山期間	2005年7月9日～7月10日	山行形態	周回
参加人数	7名		

行動記録 7月8日 旧市民病院(20:15) = 駒ヶ岳sc(22:00、22:15) = 姥捨sc(23:15、23:30) = 横川sc(24:20、24:30) = 沼田ic(25:20) = 道の駅白沢(25:20) TS1
 7月9日 TS1(7:00) = 戸倉(8:00、8:15) = 鳩待峠(8:35、8:50) - 小至仏(11:10、11:20) - 山の鼻小屋(14:50) - 竜宮小屋(16:20) - 下田代キャンプ場(16:50) TS2
 7月10日 TS2(6:00) - 原見岩(9:05) - 燧ヶ岳頂上柴安くら(9:30、9:40) - 燧ヶ岳俎くら(10:00、10:30) - 浅湖湿原(13:10) - 尾瀬沼ビジターセンター(13:25、13:40) - 尾瀬沼小屋(13:50) - 大清水小屋(15:40、16:50)

概念図



日誌

- ・白沢の道の駅は大変広く屋根のある下にテントを張ったため 小雨のなかテントが濡れずにすんだ。
- ・戸倉から鳩待峠には9人乗りの乗り合いタクシーがあり、人が9人集まり次第出発するので 待ち時間なく出発できた
 料金は900円/人で、到達時間は約20分
- ・9日は朝から曇りで時々小雨が降ったも雨具を着るまでもなく夕方 テントを張るまでもった。まさにテントを張っている時に雨が本格的に降ってきた。
- ・至仏山頂上では 曇っており見晴らしはもう一つであったが、翌日のぼる燧ヶ岳が雲の向こうに見え、遠く高く感じられた。
- ・至仏山頂上から尾瀬ヶ原の方へおりましたが、蛇紋岩の岩肌がかなりすべり歩きにくかった。
- ・下田代のキャンプ場でテントを張ったが、横には営業小屋があり、ビール等の飲み物も手に入ります。
- ・10日は前夜の本降りの雨で撤退ルートのことを中心に話していたら、翌朝 晴れてしまい、出発が30分おくれた。
- ・10日は朝から見事に晴れた為燧ヶ岳の山頂付近からの見晴らしは最高で、前日自分達が歩いてきた至仏から尾瀬ヶ原の木道のルートも全部見下ろせ 充実感が感じられた。
- ・燧ヶ岳の山頂は柴安くらの方に山頂の看板があります。平らな面積も俎くらより広い。
- ・燧ヶ岳からの下りは長英新道を通ったが、ルート時間短縮の為、通ろうとしたナデツ窪のルートが通れなかった。
 理由は不明ただそのあたりに雪渓が残っていた。
- ・燧ヶ岳から下った後一ノ瀬から大清水まで砂利道の林道を下りで約50分歩きますが、これがなんと不評でした。